

## PROGRAM NOTE

2001

**近藤譲：雪が降ってゐる**  
混声合唱とピアノのための

**Snow's Falling**  
for Mixed choir and Piano

これは、中原中也の詩「雪が降ってゐる……」による混声合唱とピアノのための作品である。作曲に当たって、中也のこの詩を選んだのには、二つの理由がある。第一に、作曲の委嘱者（山口県民文化ホール・シンフォニア岩国）が、同県出身の詩人である中也の詩が用いられることへの期待感を、漠然とではあるが、示していたこと。そして、第二に、この詩の構造上の特徴、即ち、「雪が降ってゐる」という詩句の反復が産みだすリズムが、少なくとも私の耳には、非常に音楽的に響いたからである。

尤も、一般的に言って、「文学的な」音楽が文学ではないのと同様に、「音楽的な」文学は音楽ではない。つまり、詩の「音楽的」性格は、必ずしもそのまま音楽に結びつくわけではなく、むしろ、そうした詩に作曲すると、詩の「音楽的」性格が音楽によって消し去られてしまう虞れの方が大きい。

詩自体の「音楽的」性格を保ちつつ、それを「文学的」性格の音楽にすることは可能だろうか。私にとって、この「雪が降ってゐる」は、そうした課題へのひとつの小さな試みであった。

この作品は、2001年に作曲され、翌年、田中信昭指揮のコールシンフォニアによって岩国で、初演された。

近藤譲

初演：2002年3月（シンフォニア岩国 [山口県民文化ホールいわくに]）

初演者：田中信昭(指揮) コールシンフォニア

委嘱：シンフォニア岩国

出版：University of York Music Press (UK)

録音：ALCD-115

演奏時間：15分